

国際ロータリークラブ第2570地区 第4グループ



NO 40 - 25 第1942回例会 1月 9日 2003年 1月 16日発行

会長 梅村 孝雄、会長エレクト 高井 和夫、副会長 渋谷 修身、幹事 小林 雅幸

《本日の例会》

本庄RC・本庄南RC合同新年会
於：ウェディングパレス五州園

点錠 午後6時30分
進行 小松 正敏 本庄南RCSAA副チーフ
国歌斉唱 「君が代」
ソング 「我らの生業」斉唱

会長挨拶・報告 高橋 茂雄 会長(本庄南RC)



皆さんこんばんは。新年明けましておめでとうございます。本日は恒例の本庄RCと本庄南RCの合同新年会であります。新春を迎えて皆様のご健康とご多幸をお喜び申し上げます。本日は会長挨拶が2つありますのでいつもより短めにさせていただきます。

さて毎年年末にはいろいろな統計数字が発表されますが、昨年末ひとつ気になりましたのは厚生労働省の人口動態統計の年間推計であります。昨年一年間の出生数が男女合わせて115万6000人と過去最少のことです。100年前の明治33年でも人口は今の3分の1の4300万人でしたが140万人くらい生まれており、戦後の第一次ベビーブームで出生した団塊の世代の260万人から見ますと半分以下をはるかに下回っています。

少子高齢化社会がどこまで進むのかいささか心配になってくるところであります。

昨年はサッカーのワールドカップで日本チームが健闘したりノーベル賞で小柴昌俊教授と田中耕一博士がダブル受賞したり明るい話題も多々ありましたが、景気の回復は思うようにいかず、厳しい1年であったと思います。新年に入ってからも今のところ世の中を揺るがす様な大事件こそ起きてはいませんが、イラクや北朝鮮の状況によっては先行に不安定な要素をはらんでおります。この様な時期ですが、新年を迎えて何とか前向きに本業に取り組み、任せて奉仕活動と親睦に日々務めたいところであります。

本庄RCは今年は創立40周年記念ということでお喜び申し上げます。本庄南RCも皆様のおかげを持ちまして今年で10周年目になります。今後とも宜しくお願い申し上げます。

私達の住む地元本庄市も新幹線の新駅はいよいよ来年に開業の見込みとなっていますが、市町村の合併問題や早稲田大学との産学地域連携の問題など本年もたくさんテーマが山積しております。それはそれとして、今年一年間ロータリーの奉仕活動と親睦活動に力を注げる様に病気や事故に合わず、是非皆様が健康を維持されることをお祈りして新年のごあいさつとさせていただきます。

梅村 孝雄 会長(本庄RC)



皆さん明けましておめでとう御座います。
平成15年どんな年に成るかは、神のみぞ知る事でしょ

うが、年に一度の本庄南RCとの合同新年例会に出席している皆様にはきっと素晴らしい一年が過ごせることに、保障は出来ませんが期待する次第です。厳しい寒さの中ですが、本庄市に根付いた二つのRCが集まり、日頃行き会えない方々との交流、親睦。そしてお互いのRC活動を理解する事が出来る貴重な機会です。世紀末を思わせるような大不況の嵐が吹きすぎ、いつ戦争が起きるかも知れない不安定な世界情勢ではありますが、多くの人々が集えた幸せとそこで本庄RC会長として挨拶できる事に感謝しております。

今年は、我がクラブは創立40周年、南RCには10周年の節目の年に当たります。南RCでは3月1日、我がクラブは5月15日それぞれに記念式典が開かれます。我がクラブを代表して、10周年を迎える本庄南RCの皆様に一足早いですがお祝い申し上げます。

さて、二つのクラブでは、会員数を始めとして多くの相違点はあります。国際ロータリー会長ビチャイ・ラクタル氏の慈愛の種を播きましょう。この素晴らしいテーマに基づいた活動においては、お互い何の遜色もありません。

本日の合同例会に当たり、南RCの会報を改めて幾つか読ませていただきました。大変失礼な表現になる事を最初にお詫びしておきますが、会員数わずか33名出席者数20名前後のクラブが、毎週毎に立派な会報を発行、外部卓話者を呼んでの充実した例会を開き、高橋会長のテーマ「真心を持って開かれたロータリー」そのものを実践している事などを知りその活動の密度の高さには驚かされます。100名を超える我々を遥かに超えている素晴らしい奉仕活動には脱帽いたします。わずか10年、我がクラブから戸谷全克会員が移籍した以外は、全員新人会員の南クラブの方々の活躍には、ただただ敬意と尊敬を表すのみです。その一つが、カンボジアへの支援活動です。長い内戦で疲弊、破壊しつくされた戦乱の地に設立されている、戦争の最大の被害者である親を失った子供たちを収容する、クメール民族教育センターへの支援を、単に資金援助ではなく、自分たちで集めたノートや鉛筆などサッカーボールなどを、それも数年来継続して、会員自ら貴重な時間とお金を使って現地まで持参して支援している。なんと素晴らしい奉仕活動をしているのかと私も含めて、びっくりしている我がクラブのメンバーもいますので、懇親会の中にでも御説明戴ければ幸いです。

又、浅田進会員がガバナー補佐エレクトとして推薦された事実も、本庄南RCが名実共に第4グループ内の重要な位置を占めている証拠です。

終わりに、本日の設営一切をお任せしながら、本来なら火曜日の南クラブの例会日に合わせなくてはいけない

ところ、我がクラブの木曜例会開催に快く、変更をしていただいた、高橋会長、堀川幹事さまをはじめ南クラブ全会員の皆様の寛容さと心の広さに本庄RCを代表して御礼申し上げます。有難う御座いました。

幹事報告

堀川 明 幹事(本庄南RC)



皆様明けましておめでとうございます。昨年は本庄RCさまには書き損じはがき等で大変お世話になりました。

今年は当クラブ10周年記念事業があり、また、カンボジア支援やIM地区大会と行事があります。昨年同様本庄RCさまと連絡をとり運営していきたいと思います。

最後に皆様のご繁栄とご健康を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

小林 雅幸 幹事(本庄RC)



皆様明けましておめでとうございます。本日の合同新年会の設営を本庄南RCの方々にしていただき感謝申し上げます。

- ・ ブラジルからの交換留学生が1月25日(土)に来日予定です。1月30日の夜間例会に出席する予定ですので、大勢の会員の出席をお願いします。南RCの方も是非ご出席ください。
- ・ 1月の理事会が16日11:00から開催されますので理事の方はご出席願います。
- ・ 年会費(後期)の引き落としを、1月16日に行ないますので口座の確認をお願いします。
- ・ 本日の飲み物代は通常の夜間例会と同様に国際奉

仕部門への協力金としてお願いします。出来ました
ら1人1000円程度のご協力をお願いいたします

新 年 会

ニコニコBOX委員会

境野 定次 委員長

(順不同・敬称略)

小林 一成 新年あけましておめでとうございます。
本庄南ロータリークラブとの合同新年会
です。皆さんよろしくお願ひいたします。

(以下同文でご投入がありました。)

藤井 仁・高井 和夫・岡芹 正美・水上 登美晃・
萩原 達夫・石川 季生・笠原 勝・金井 直樹・
岩本 英人・小林 雅幸・飯島 憲司・渋谷 修身・
戸谷 清一・下山 正男

金子 弘 新年あけましておめでとうございます。
新しい年を迎え、仕事に奉仕にがんばり
ましょう。

(以下同文でご投入がありました。)

飯塚 章治・境野 定次・田沼 正・神宮 つぐよ・
戸谷 丈・田中 宏樹・三宅 健吉・竹並 栄一郎・
立石 秀寿・竹並 紀松・狩野 輝昭・内野 昭八郎・
佐藤 三郎・石原 修・竹中 俊吾・小此木 利明・
岡崎 正六・八木 茂幸・金井 澄雄・矢島 淳一・
渋澤 健司・春山 茂之・石原 輝弥・岡根 晃・
笠本 孝一・橋本 恒男・齋藤 清一・野田 貞之・
福島 文江・梅村 孝雄・高柳 育行・中村 孝

本日の投入金額合計￥48,000.

国際奉仕委員会協力金
本日の投入金額合計￥51,000.

開会挨拶・乾杯

渋谷 修身 副会長



恒例となっている本庄・本庄南RCの合同懇親会を開催いたします。今年もよろしくお願ひいたします。

会長エレクト挨拶

根岸 良行 会長エレクト(本庄南RC)



あけましておめでとうございます。お受けしたからには誠心誠意一生懸命やっていきますのでよろしくご協力の程お願いいたします。本庄クラブの皆様とは親しくお付き合いをさせて頂いております。これからもご指導よろしくお願ひいたします。

高井 和夫 会長エレクト(本庄RC)



私も誠心誠意頑張っていくつもりです。どうぞよろしくご指導の程よろしくお願ひいたします。

40周年記念実行委員会

竹中 俊吾 副実行委員長（本庄RC）

次年度本庄南RCの浅田 進さんがガバナー補佐になります。本庄クラブもこぞって協力いたします。よろしくお願ひいたします。

閉会挨拶

浅田 進 次年度ガバナー補佐



10周年記念実行委員会

星野 泰雄 実行委員長（本庄南RC）

本庄クラブの諸先輩のおかげをもちまして10周年を迎えます。記念事業として国際奉仕のささやかな行動としてカンボジアのクメール民族文化センターに支援の奉仕団体として行ってまいります。支援物資のご協力をお願ひいたします。

経験不足ですので40周年を迎える本庄ロータリークラブの協力がないとできないと思っていますのでご協力の程よろしくお願ひいたします。



クラブ会報委員会

三宅 健吉、高橋 誠一、近藤 伸侑、田中 克、福島 正美、巴 高志、
田中 宏樹、並木 孝幸

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

事務所 埼玉グランドホテル本庄 700 〒367-0041 本庄市駅南2-2-1

TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

ホームページ <http://www.globals.co.jp/hp/HRotary/index.html>

例会場 埼玉グランドホテル本庄

E-mail honjorc@themis.ocn.ne.jp